

## 9. Y社における限外濾過機から変更した効果事例

### 効 果

- 1) スーパークリーン設置前には脱脂槽内の油分濃度が6,000ppmに達すると(日数にして約10日)限外濾過機(UF)で処理をしていたが、この方法ですと原液が衰退して新液更新時と同じだけの薬品代が掛っていた。これに対し、スーパークリーン設置後(3,000ppm維持が契約事項)油分濃度は2,500ppm前後で維持されている。

[Fig 3-(1)参照]

- 2) 薬剤の使用量は、設置前と比較すると約45%減少。[Fig 3-(2)参照]
- 3) 限外濾過機利用の総経費25万円/月であったが、スーパークリーンに変更後1.5万円/月となった。

### 条 件

- a) 金属塗装ライン脱脂工程(品物2m×1.5m)
- b) 脱脂槽 5m<sup>3</sup>
- c) シャワー吐出量 3m<sup>3</sup>/min
- d) 設置機種、スーパークリーン SX-8型(1m<sup>3</sup>/h)
- e) 液温 60~70°C
- f) 油持込量 220g/h
- g) 油分濃度、四塩化炭素抽出、IR法

Fig 3-(2) (薬剤低減例)

